

岸選手もロンドン五輪へ

トランポリン 伊藤選手に続き



報告会で祝福を受ける岸選手 =第2体育館トランポリン場

岸彩乃選手(金沢学院大学スポーツ健康学部スポーツ健康学科1年)が、伊藤正樹選手(大学院1年)に続いて、トランポリン女子個人のロンドンオリンピックの日本代表に決まりました。

岸選手は小松大谷高校から五輪出場を目指して本学に入学。シドニー五輪6位入賞の古章子コーチの指導で、わずか入学1年

い学部の1期生が五輪出場という快挙を成し遂げ、後に続く後輩の励みになります。本番では、いい演技を期待します」と激励しました。

この後、伊藤選手と北國新聞社を訪れ、飛田秀一理事長から祝福と激励を受けました。岸選手は「目標

が定まり、練習に集中できます。出場するからには、ベストを尽くし、少しでも上位を狙います」とさわやかな笑顔で決意を述べていました。

2人に続けと新たな闘志
男子の出場残り1枠を狙って、法人職員の山科学選手、経営情報学部3年の島田諒太選手も、2人のあとに続けと、新たな闘志をみなぎらせています。

カウンセラーの資格取得

就職支援センター 細川担当部長



就職支援センターの細川亮弥担当部長の「写真」が、本学では初めて、キャリア・カウンセラーの資格を取得しました。日本キャリア開発協会が認定する厚生労働省指定のCDA(キャリア・デベロップメント・アドバイザー)

ザー」という資格です。細川部長は昨年夏に8日間、延べ64時間の養成講座を修了後、10月に1次の筆記試験、12月にカウンセリング実技の2次試験を受け、最終合格率23%の難関をパスしました。細川部長は「今後は、CDAという立場から、個々の学生の適性を見極めた的確な就職支援を行っていききたい」と抱負を話しています。

息の合ったハーモニー 合唱部定期演奏会

金沢学院大学・金沢学院短期大学合唱部の第22回定期演奏会は1月21日、金沢市アートのホールで開催され、部員や卒業生14人が山瀬泰吾先生の指揮で息の合ったハーモニーを奏でました。

今回は特に混声合唱をメインに置き、深みのある意欲的な構成で会場に詰めかけた約200人の聴衆を魅了しました。



聴衆を魅了する混声合唱 =市アートホール

2月9日から華展
金沢学院大学・金沢学院短期大学華道部の華展は、2月9日、10日の両日、ANAクラウンプラザホテル金沢で開催されます。